夕刊 常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210番
編集兼印刷発行人 吉田甫

三坂地區合併に暗影 合戸部落から反對の聲

三阪沢渡、永戸貝輪の山間方部をブロツクとする合併問題は、十二月の県会承認を目標に関係者らが話合を進めて来ていたが、地理的関係から小野新町に編入合併を望んでいる三阪村に対し、これを引きとめようと説得側の立場にあつた永戸村の村民有志の間に、こんどは逆に説得案に反対の叫びが飛び出して益々困乱の様相を示し、廃務役の地方事務所を手古ずらせている。

理事者案に反對 百三十名の署名で陳情

永戸村大字合戸部落の代表松崎太一氏(六二)氏ら五名が、十五日に同部落民百三十名の署名簿を携えて石城地方事務所を訪れ、三阪村との合併案反対の陳情に及んだ。

その理由によると、今月初旬に決められた三阪地区合併促進案のなかに

▼現在合戸地内にある永戸村役場を廃し、沢渡地内に本庁を設け、三阪地内に支所を設置する

▼現在の合戸小校を廃し、これを沢渡小校に併合する。

とある二項目は村民の意志を全く無視して決定されたものであり、しかも交通不便な沢渡地内に役場を移すことは納得出来ないというものである。

三坂村民は 田村編入を希望

ところが三阪村の現状は、村民の九割が田村郡小野新町編入を希望しておると言われているほどで、永戸や沢渡方部の引止め工作も余程強力に推進しなければ困難な現状である。

これを地方事務所の斡旋で一応まとまりかけた促進案の足もとから、反対の火の手があがつたことは全く困つた問題だと関係者らを憂慮させ今後の成行きが注目されている。

陳情代表の弁

これに対して合戸部落の代表らは「私達は合併に反対しているのではない、むしろ合併を一日も早く推進させたい気持からだ、私達の反対する理由は、理事者が村民の意向を全く無視した合併案を進めているからで、方法が悪いと主張しているのだ」と語つており、

芳賀次長談

また廃務役の石城地方事務所芳賀次長は

「合併案は三村合議の上決められた案であつて、更に協議を重ねて理想案を作成することになつている、村民の意向をよく聴き、円満に理想案を決定したい」と語つており、解決の予地はまだ残つているものとみられている。

ベトナムへ出漁 底引漁組から二隻

県機船底引漁業協同組合では、本月下旬理事坂本長太郎氏をベトナム共和国に派遣することになつたこれは去月中小名浜、江名、豊間などを視察したベトナム共和国水産局長一行が、「ベトナムに出漁してもらいたい」と技術提携を約して行つたことに関して、契約内容や漁況などを調査するためで、ベトナム水産局長の話によると、出漁計画は一船団四隻で、うち二隻を本県から選び、漁獲については何魚でも貫当り三百円で買上げるというもので、地元漁協組では大乗気で準備を進めており、十二月中には漁船二隻を選んで出漁させる計画を進めている。

高坂小五十周年 記念式典や勤続表彰

内郷市高坂小学校では創立五十周年を記念して、十八日体育祭を開くほか、十二月五日は盛大に記念式典を挙行する。

同校は明治三十八年の創立で猪井浩校長は十三代目の校長さん創立当時は二百四十名だつた生徒数も現在では千百名を越え六棟三十八教室という大学校である、記念式典には優良勤続教員功労者などの表彰を行う

入遠野中文化祭

入遠野中学校では二十五日午前九時より、文化祭を催し、農産物、手芸、絵の展示会をPTA総会と併せて行う。

労災病院 一月中旬開院か

内郷市綴地内に建設中の福島労災病院は着工以来四ケ月工事順調に進んでいるので明春一月中旬には開院の運びの見通しである。

現在二階建鉄筋コンクリートの本館約三百三十坪の建築を終了目下室内整備にとりかゝつているが今年一ぱいには完成の運びである、第二期工事は三階建鉄筋コンクリートの病舎二棟が総予算三億五千万円で計画されているが、第一期の建物が完成次第開院する予定だと言われている。

学生ピアノコンクール 廿八日平商校で

平商高生徒会主催の第一回浜通り地区学生個人ピアノ・コンクールは二十八日午前九時から同校で開かれる、

▼参加資格、浜通り地区小、中、高校生▼参加料なし

▼課題曲、自由曲一人一曲。

湯本の市街道路擴張 明春早々に着工と決る

種々取りさたされ乍ら、一向軌道に乗らない常磐市内道路拡張問題も高谷都市建設課長の来郡を機に明春一月から駅前道路を十二米に拡張することが本極りとなり、現在の巾員では車の交さがやつとだつた、市民の歩行難渋も解消されると喜ばれている。

また同市には観光地に必要な公園がなく、公園建設も望まれていたが、

▽湯本字三函地内観音山を整地(二千平方米)、予算二百万をもつて児童遊園地の具備する公園とする、

▽字天王崎地内御幸山(湯本駅前)に同じく予算二百万円で四千平方米を整地、市一の総合遊戯場をつくる、

▽予算百万円を計上し字上町地内成田山神社境内を千二百平方米に拡げ、広場遊園地をつくるなど三カ所の公園建設計画のほか

石川、湯本間道路舗装計画など明三十年度にかけられた都市計画は観光宣伝と「湯の街」常磐市の発展のキイ、ポイントになつて来た

失對事業打合會

昭和三十年度の失対事業打合せ会は十七日午後一時から石城失対事務所会議室に県出先の各関係機関代表が集つて開催、重点的な施行対策などを協議した。

同計画によると明三十年度に於ける失対事業は二級国道平―新潟線、同平―小名浜線、海岸観光路四倉―豊間線などを含む道路、河川、街路、農林道、砂防など七十一カ所、事業費二億五千万円を見込まれているが、特に明年度に於ては特定地域指定(東北で唯一カ所)に基く失対事業が異彩ある役割を果すものとして期待されている。

磐城市役所 冬時間を実施

磐城市役所の冬期執務時間は三月三十一日まで午前九時三十分から午後四時三十分まで、但し土曜日は午後零時三十分まで執務することになつた。

平消防閲團式 廿三日三十米通りで挙行

合併後初の平市連合消防団閲団式は二十三日午前八時から市内三十米大通りに傘下八単位団員一千五百四十一名が参加して行う、

式順は大和田蔵井単位団長の開会の辞に始り、通常点検、諸橋消防長の訓示、松本連合団長、井上消防署長の挨拶あり、続えて平商高校庭に於て分列行進を行うことになつている、

なお連合消防団編成による平市の消防陣容は

△平百七十五名△平窪百四十三名△飯野二百二十二名△神谷二百十名△豊間百五十六名△高久百八十名△夏井百九十五名△草野二百六十名となつている。

畜農講習会

有畜営農講習会は十二月十六日午前十時から平市公会堂日本間で開催、このほどデンマーク農業を視察して帰つた県有畜営農協会矢吹饗氏を迎え「体験を通じて見たデンマークの農業」について講演する。

郡下の有畜営農推進員と中堅青年その他一般の多数参加を望んでいる。

磐城市消防 家庭コンロ調査

磐城市消防本部では火災期節に入つたので予防の一端として全市に亘り石油コンロ使用家庭調査を開始した。

これは調査に基いて管理及使用上の指導の万全を期すもので、一般家庭の協力を要望している

造花講習会 古河労組婦人会

好間村古河炭砿の労組婦人部では、各区毎に"造花講習会"を開いて、従事員家族に造花の手内職を推めている、収入も割合よく、仕事もキレイで喜ばれている。

出生死亡 十五日届出(敬称略)

出生=杉平運転手志賀尚文二女紀二代、

死亡=中塩字大内無職門馬さよ(六さ

天氣予報

(明日)北寄りの風晴たり曇つたりの天気でしよう

(海上)風波がありましよう。

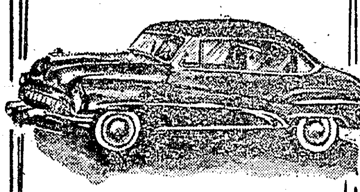
三都屋 三都屋 三都屋

銘菓 平餅(ぴんぴん) 松月堂

誰方でも安心して使える ふくふく綿 2丁目 平製綿KK 電 748 1958

内科 外科 金成医院 平市鍛田町 電話八二六番

看護婦 家政婦の御用命は……電三〇七番へ
労働大臣認可 平看護婦家政婦斡旋所
附派出多忙会員募集

貸切の御用命は 電話640番

尼子タクシー

新県庁舎見学 飯坂温泉一泊御招待付大売出し
期日 10月25日=▶11月25日
招待日 12月4日(土)5日(日) 現金チケット100円お買上毎に補助券1枚
招待人員 100名様 その他もれなく景品進呈 抽せん所 東邦銀行となり
平指定商聯盟会

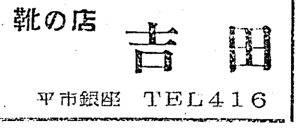
平指定商聯盟会
御進物には
きつと悦ばれる
三郷の硬質陶器
佐々木のガラス食器
御利用の程を
近代的デザインの
金子屋酒店 平銀座 TEL 136

平指定商聯盟会
家具の御用命は

伊東家具店

平指定商聯盟会
30年の伝統と堅牢を誇る
特賣中
◎定評ある◎ 紳士靴 婦人靴 子供靴
◎高級なる◎ ヂャンバー
◎オートバイ用◎ 半長靴 手袋 飛行帽
◎ローラスケート◎ ¥600円より
靴と運動具の店 大塚 駅前大通り TEL77

平指定商聯盟会
綿と寝具の専門店
寝具なら……なんでも……揃う店……
平市ひかり座前 大河原寝具店 TEL 1182

平指定商聯盟会
秋のニューモード
◎注文自家製靴大歓迎!◎
……紳士靴 婦人靴……

靴の店 吉田 平市銀座 TEL416

低品位炭の懇談會
政府の方針などを説明

常磐地区総合開発の鍵と言われる〃低品位炭処理問題〃に関して通産省斎藤石炭局長は十五日来平、東部石炭協会会議室で、常磐地区の各炭砿代表者らと同問題について懇談した、
席上斎藤局長から
▼業者側から、火力発電、ガス化その他によつて低品位炭を極力利用する方法をとつて欲しい
▼これらの計画は相当な財源を必要とするので、この交付を政府に要望すべきだと強調した、更に都市ガス化の設備やコツパースやその他の低品位炭を利用する炉の輸入奨励もしていることなど政府の方針を説明したのち、常磐炭砿火力発電所を見学して帰京した。

正しく健やかに
平で教育研究大会開く

県教組では「明るく豊かな世の中をつくり、正しく健やかな子供を育てるために」と言うねらいで二十、二十一の両日いずれも午前九時から平第一小校で〃教育研究大会〃を開くことになつた、
研究主題は
▼（基本目標）平和と真実を貫く民主教育の確立▼（一部会）人権を尊重し国際理解を深めるための教育▼（二部会）科学的合理的精神をつちかうための教育▼（三部会）情操を豊かにし創造的で健康な青少年を育てるための教育▼（四部会）子供の基礎学力を育てるための教育▼（五部会）父母と教師、青年と教師の結合を強めるための教育

兄を切出しで刺す

常磐署では十六日午後四時三十分ころ常磐市上湯長谷字長倉及川千代松(三〇)＝常磐炭砿坑夫＝を傷害容疑で逮捕した。
同人は十六日家庭の事から兄千太郎(三二)＝無職＝と口論の末なぐり合を演じ、千代松は傍にあつた切出ナイフ（刃渡六センチ）で兄の胸部、けい口部、手首など数カ所を切りつけ全治三週間の傷を負わせたもの、なお切られた兄は湯本砿病院に入院加療中である。

炭礦の若返り法
石炭局で竪坑開さく奨励

常磐炭田の若返り法の一つとして予ねてから研究されていた運搬系統の集約と設備の近代化による経営の合理化案は、平石炭局の手で進められていたが、このほど成案を得たので、年産三万トン以上の二十炭砿に対し具体案を進めることとなり、各砿に問合わせの通達を発した、この案によると
▽運搬系統の集約合理化について
①主要坑道の集約合理化によつて竪坑開さく効果と同等程度に能率を向上するもの
②保安上の観点から通風排気の効果を高める抗道の整備
③以上の坑道整備に伴う設備の改替（巻揚機、炭車、電気設備など）
④設備の更新について現有機械設備が甚しく非能率のため更新を必要とするもの
一、選炭機積込みアンペアー、坑外運搬施設、船積ローダーなどの坑外施設の合理化
二、採炭並びに運搬具の更新と新設
など以上に対して五ケ年計画のもとに三十億の更生資金と　技術の指導を施すもので、現在斜坑方式のため坑道費の支出多額から生産コストも高くなるので竪坑を奨励して若返り法の一助に資そうとゆうねらいである

磐城史談会

磐城史談会＝会長永山徳一氏＝では史談会総会を二十一日午後二時より平一中校長室に於て開催する
協議事項
▼昭和三十年度県史学会開催について
▼機関紙「磐城史談」第四号配布について。

内郷でポン患二名逮捕

十五日内郷署では二名のポン患者を逮捕した、
▽十五日午前十時ころ内郷市宮町字滝五十八無職菅野三郎(三五)は五CC入ヒロポン十四本を所持しているのを自宅で逮捕、菅野は九月上旬ころ自宅で長女のM子ちゃん(一二)に手紙を書けと頼んだところ、ねむいと言つてこばんだので同女にヒロポン一本を注射したとも自供極度のポン患者である、
▼同日午後五時ころ高坂立野地内をはい徊中の同字八十一土工市川利光(三二)は内郷署員の職務質問中五CC入ヒロポン四本を所持しているのが発覚逮捕、両名とも十七日身柄送検された。

平にショウ紅熱

平市立町食料品店二階常ミノル(三八)さん二女久子(一二)ちゃん＝三小五年生＝は十六日しよう紅熱と判明、隔離した。

薬の知識普及
今日から運動週間始る

今日から一週間、厚生省が音頭とりで次の要領で「薬の知識の普及運動週間」を展開する、県下各保健所でもこれに因んで週間行事が行われるが、運動要領は
▽不良医薬品の正しい知識の普及を通じて凶悪な犯罪や悲劇の大きな社会不安の原因になつている覚せい剤の撲滅と、患者の救済運動をおこす
▽三十年度から施行される予定の新医薬制度についての法の趣旨を徹底させる
▽県下各保健所に備付け、街頭展示板を利用、また立看板、ポスターなどを掲示して徹底を期し、薬の集いを開くほか、一般通行人には街頭相談所を設置して便宜を図ると言うねらいであるが
平保健所では週間行事がまだ決定しておらず同所の庶務主任は「週間運動をやるかどうかまだ決つていません」と語つており御役所仕事の例にもれず非難されている。
が、一方常磐炭砿から「恐ろしいヒロポン」患者を一掃し、明かるいヤマにするため日夜努力をつゞけている。

好間に愛児殺し未遂
馬乗りになり首をしめる

平署では好間村上好間字空山八一土工酒井康人(四四)を殺人未遂容疑で逮捕、取調べている。
酒井は去る十月二十二日午後六時ころ十三を頭とする子供四人の内、三人を風呂に出してから次男の修三智ちゃん(一〇)に対し「お父さんと一緒に死んでくれ」と言いながら同君の首に手拭を巻きつけ、馬乗りになつて手拭の両端をしめて愛児殺しを図つたが、隣家の国分某さん(三〇)に発見されて果さず未遂に終つたという容疑によるもの、また同人は殺人予備、窃盗、傷害など前科四犯で、今年の始めころ妻(三八)が情夫と一緒に家出してからは極度に神経をとがらせ、前に出刃包丁で腹を切つたり、アドルムを飲んだりして自殺を図つたこともある。

炭礦街にコソ泥
公安係で盗難防止予防

年の瀬が迫り市街の盗難と併行して常磐炭砿でも備品、資材などの盗難がおきている、今月初旬ころ内郷砿山神社に賊が入つて相当多額の物が盗まれたが。
湯本砿公安係の調べによると、七月三件、八月五件、九月三件十月三件、で平均して五、六千円相当が盗難にあつているといわれる。
犯人はほとんどが、ポン患であるようで、以前同砿で働いていたものが、ヒロポンの魅力の前に屈して転落の途をたどり、その挙句、勝手知つた職場附近からポン代を漁るようになつているとも言われている。常磐炭砿公安係ではこれら盗難の防止と、各職場の完全維持のため、機動隊を設けて巡邏に当つている

土産コンクール
産業文化祭と合併して開く

第五回の磐城産業文化祭と合併して開かれる県観光物産振興会主催県商工組合連盟、県物産移出協会などが後援する第三回福島県土産品コンクールは来る二十一、二十二、二十三の三日間平市公民館で開催されるが、
▼出品要領として
①品目は観光土産にふさわしいもの②点数に制限なく経費は出品者負担③搬入は十九日迄平市役手観光課迄、以後搬入のものは審査対象外とし、月産見込数量、小売価格を明記する④出品申込十一月十八日平市観光課宛申込むこと。

いわき歌会
廿八日平公民館

いわき歌話会＝会長高萩草風氏＝では、「短歌草原」の主幹者柳瀬留治氏を招いて、二十八日午前十時から平市公民館に於て歌会を開催する。
なお作品は二十五日迄に平市桜町三大内与五郎氏宛送付のこと

フジオ古山

外人登録違反

平署では去る十日朝鮮生れ勿来町字久保田パチンコ営業間島守(四九)を外国人登録法違反現行犯で逮捕十七日書類送検した
同人は二十一才の時来日し二十二才の時に若松に移り、本年六月勿来に移住しパチンコ業を始めたもので登録証を所持してないもの。

ス・ダンス
初心者の講習

スクエアダンス石城サークルでは二十一日午後一時から梅力保育園で、二十八日は午後一時から平二小校講堂で年末パーテーに備え、初心者向の講習会を開く。
なお同会では十三日午後六時から会長宅で月例役員会を開催、一年末パーテーを協議する。

スガタ靴支店
平信販指定商チケット

平市二丁目

栄養百パーセントの
富士の支那そば
うまい 安いの
天丼 カツ丼 親子丼 カレー
和洋支御料理 富士食堂
平市材木町 TEL677

ショウ紅熱流行
平市役所で予防を警告

空気伝染によつて感染しハシカのように四十度前後の高熱を発して皮膚がむけると言われる子供達の熱病、ショウ紅熱が最近平市に続発隔離された者が十七日現在三人を数え、昨年の同季中は一人も隔離されていなかつたところから市民課衛生係では例年にない気候の変動が大きく左右しているのではないかとみて、予防対策に乗り出すと共に、
学校及び一般父兄に対しショウ紅熱に対する予防の勧告を発することとなつた、発病時は高熱を伴ないハシカと同じく皮膚全体に赤い小さなポツポツが出来て次第に皮がむけるようになるが、むけた皮膚によつて空気伝染するので、それ以前に医師の診察を受け適当な措置を講ずるよう希んでいる。

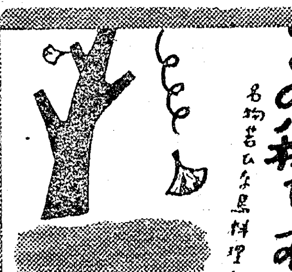
銘菓 六段最中 平凡

今週の映画

聚楽館二十二日マデ　他各館二十三日マデ
◎聚楽館　夜の部　六、三〇　君知るや南の国　外人部隊
◎世界館　夜の部　六、一〇　三日月童子　お坊主天ぐ　千姫
◎ひかり座　夜の部　七、〇〇　女性美への道　恐怖の報酬
◎民劇　夜の部　六、三〇　怪傑鷹第二部　エノケンの天国と地獄　眠りなき街
◎平館　夜の部　六、二〇　君の名は一、二、三、部

出前迅速
味のシューマイ
自慢のワンタン
さかえ食堂
平市駅前　電九八八番

お車の御用命は
最新式大型 2台入荷
中型……6台
小型……5台
電話 1076
常磐交通タクシー部


・・の秋です
名物若ひな鳥料理を
お食事のデパート
出前迅速 不二屋 電886 1750
TAIRA CHUODORI

石炭は常磐炭礦
火力の強い
火持の長い
カスの少ない
徳用石炭
電話三三七番へ
御用命を待ちます
平市田町
常磐炭砿販売KK

飯坂温泉
一泊招待大売し
万年筆は
K14金ペン付
最優秀品
時計は
精工舎……スイス
◎チケツト御利用下さい◎
平指定商加盟店
山崎時計店
平市5町目 TEL991

食肉は…
◎神戸牛肉…
◎季節向…
ハムとソーセージ
綠屋本店
平市一町目電五三九
綠屋支店
平市中央通り電七九四

秋の佳き日
御衣裳の御相談に応じます
大床美容院
平市田町　電五五二

胃腸科 外科
呼吸器科外科
整形外科
産婦人科
放射線科
マツオ医院
平市大町 電一五四番
院長 松尾正平
医員 山高弘毅
放射線科 杉田昭二